

# 議会報告

かたの民報 No.1708  
2019年2月発行

交野市役所 共産党控室  
私部 1-1-1 ☎ 892-0121 (内線 301)



中上 さち子 ☎893-6785



さらがいふみ ☎894-2835

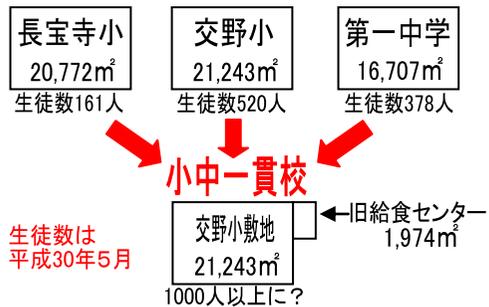


藤田 まり ☎397-3027

## 交野小・長宝寺小・一中を統合、詰め込む 小中一貫校の計画案は見直しを

市教育委員会は、交野小・長宝寺小・第一中学校を統合し、交野小敷地(旧給食センター含む)に施設一体型の小中一貫校を設置する計画です。12月の市民説明会では、多くの疑問や不安の声があいつぎました。市は、「長宝寺小の子どもが少ないので規模適正化が必要」と説明してきましたが、校区変更や小学校統合ではなく、なぜ小学校と中学校まで一体にするのか、納得できる説明がされていません。長宝寺小保護者からは「小規模ならではの丁寧な教育がされている」「学校をなくさず校区変更の検討を」の声があがっています。

小中1000人以上を、交野小敷地につめこむことに



小中一体の一貫校は多くの無理がある。小学1年生から中学3年生まで同じ学校にすることには、多くの無理があります。運動場やクラブ活動の場所の確保、授業時間の違い(小学校45分、中学校50分)、体格差により、トイレや階段、プールの深さも異なります。

### なぜ、小学校と中学校を一体にするのか??

## 12月議会 問題だらけ!! 公的責任の放棄!! 「公立あまたのみや幼稚園を廃止する条例案」に日本共産党は反対

12月議会では、公立あまたのみや幼稚園を廃止し民営化するための条例案が提出されました。この民営化には多くの保護者や市民が反対しており、市が実施したパブリックコメントには646件の民営化を望まない意見が寄せられています。日本共産党は、公的責任の放棄に繋がる民営化に反対しましたが、賛成多数で可決されました。

#### 日本共産党の反対理由

①森新池への園舎移転に保護者や近隣住民は納得していない

昨年10月の住民説明会では、森新池に園舎を移転することについて、交通安全や自然災害に対する安全性の面で、住民からたくさん意見が出されましたが、その解決策は示されていません。森新池の一部は土砂災害警戒区域にもかかっており、保護者からも、昨年夏の災害経験から不安視する声があがっています。

②公立同様の保育を引き継ぐための補助制度が明確に示されていない

基本方針では、民営化園でも、公立同様の保育を引き継ぐとしています。市はそのために必要な、障がい児童、特に1号認定(幼稚園部分)の受け入れに対する加配保育士の雇用や、看護師の配置・直営自園給食の実施するための補助制度の内容を明らかにすべきです。



③平成32年4月の開園は難しいと移管法人が発言

公立あまたのみや幼稚園の移管先である、社会福祉法人(晋栄福祉会)は10月の移管法人選定委員会で「市が計画する平成32年4月の開園は難しい」と発言しています。市の計画はすでに破綻しており、計画は見直すべきです。



④民営化ではなく、民間で働く保育者の処遇改善こそ必要!

他業種より約10万円も低いと言われる保育従事者の低賃金、サービスマンや保育士不足は常態化しています。民間の保育従事者の処遇は抜本的改善が進んでおらず、長く働き続けられる環境こそが必要です。

⑤「施行日の記入がない」異常な条例案

条例案では、あまたのみや幼稚園を廃止する施行日の明記がなく、「規則で定める」とされています。廃止の期日は議会を通さず市が勝手に決めることができる、異常な条例案になっています。

#### こんな条例を可決する市議会ではないのか?

施行日の無い条例の提案は、市民の負託を受け、行政のチェックを行う議会の役割を軽視するものです。このような条例案を可決した市議会のあり方も問われています。

また発達段階の違う小中学生を一体にすることで、小学校高学年のリーダー性が育ちにくいことなどを文科省も指摘しています。プールはあくまでグラウンドの活用も検討?

「交野小敷地に、小中3校を詰め込み、十分な活動場所を確保できるのか」という12月議会での日本共産党の質問に、市は「具体的な施設整備は、(小中一貫校を建設する)計画を策定した後に検討する」と答弁しました。また、プールや部活動の場所は、いきいきランドの活用なども含めて今後検討するとしています。日本共産党は、「子どもの活動場所を確保する市の考え方をまず説明すべき。市民の声を聞き計画案は見直しを」と求めました。